

人の可能性を照らせ。



2021年12月24日
株式会社 QD レーザ

日常生活用具助成金給付事業への登録活動のお知らせ

株式会社 QD レーザは、当社のレーザ網膜投影機器 RETISSA®Display II +RD2CAM（アクセサリカメラ）のセットを、ロービジョンの方々にお届けしやすくするため、日常生活用具助成金給付事業への登録活動を進めてまいりました。当社製品を既にお取り扱い頂いている眼鏡店様が新たに登録業者申請を行い、早ければ来年早々から給付に基づいた販売を開始できる見込みです。また、RETISSA®Display II +RD2CAM とともに、来年度発売予定の RETISSA®Handy を図書館や役所、リハビリテーションセンター等の公共の場で使用していただく取り組みについても、首都圏のいくつかの議会において検討が進んでいます。少しでも早くロービジョンの方々に知っていただくため、詳細が決まり次第、都度リリースいたします。

【RETISSA®Display II +RD2CAM(アクセサリカメラ)】

当社の RETISSA®Display II +RD2CAM(アクセサリカメラ)は、レーザ網膜投影アイウェアです(図1)。カメラで撮影した画像をメガネフレームに内蔵した超小型レーザプロジェクタで網膜に直接描くため、装着者の眼のピント調節機能に関わりなく、鮮明な画像を見ることができます。



図1 RETISSA®Display II +RD2CAM(アクセサリカメラ)

【日常生活用具給付事業】

当社は、視覚障害の方が RETISSA®Display II +RD2CAM(アクセサリカメラ)を購入した場合に、市町村からの給付金を受け取るための取り組みをしています。

この給付金は厚生労働省の日常生活用具給付等事業によるもので、市町村が行う地域生活支援事業の内、必須事業の一つとして定められています。障害者等の日常生活がより円滑に行われるための用具を給付または貸与すること等により福祉増進に資することを目的としており、障害の度合いによって、日常生活用具の費用の全額または一部を給付されるものです。(根拠:障害者総合支援法 第77条第1項第6号 創設年度 平成18年)

給付は市町村ごとの取り決めに従い、当事者または登録業者からの申請によって行われます。障害の種類によって給付対象となる日常生活用具と給付基準金額が決められています。例えば柏崎市では視覚障害

者むけの拡大読書器の給付金は 198,000 円です。

<https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/soshikiichiran/fukushihokembu/fukushika/3/2/1/3944.html>

【RETISSA®Handy】

RETISSA®Handy は手持ちのレーザ網膜等装置で、内蔵したカメラの映像を広い画角で網膜全体に描き出します。簡単に使えることが特徴で、個人用にカスタマイズする必要がありません。近視、老眼、乱視等が進んでいても文字を読んだり、書くときに使えます。

当社はこの RETISSA®Handy を文部科学省の読書バリアフリー法(障害の有無にかかわらずすべての人が読書による文字、活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律、2019 年 6 月 28 日公布、施行)にかなうものとして、図書館、学校などの公共機関で使っていただく取り組みを進めています。

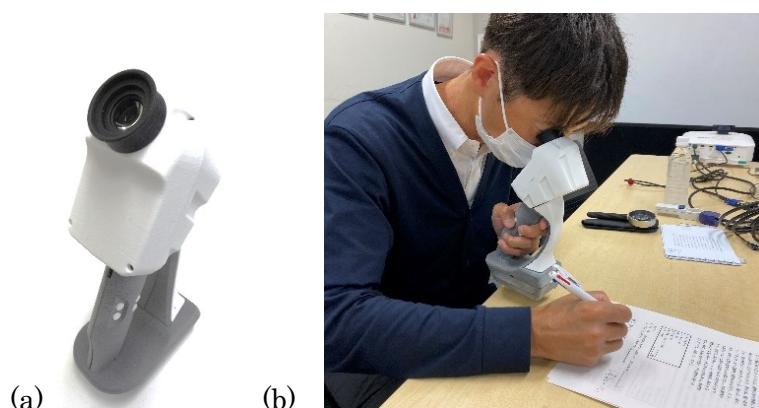


図2 (a) RETISSA®Handy 試作品 (b) RETISSA®Handy の使用例

【視覚障害を持つ人々への支援活動】

当社は、ロービジョンエイド製品を開発・製造・販売すると同時に、ロービジョン者が暮らしやすい世の中を作るプロジェクトを展開しています。今年も With My Eyes プロジェクトを立ち上げ、ロービジョン者の本音を聞くプロモーションビデオを制作、公開し話題を呼びました。

<https://www.youtube.com/watch?v=RSvwqS9KOWI>

また、現在はクラウドファンディングで盲学校の子供たちを支援する呼びかけも行っています

<https://readyfor.jp/projects/80268>

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 QD レーザ 視覚情報デバイス事業部

メール:retissa@qdlaser.com

以上